

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票（評価対象年度:令和7年度）

施設の名称	名取市子育て支援拠点施設
指定管理者の名称	特定非営利活動法人子育て支援ARIママネット・一般社団法人マザー・ウイング共同事業体
施設所管部課（室）	健康福祉部 こども支援課

1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者（管理受託者）	摘要
平成31年4月17日～令和6年3月31日	指定管理者	マザー・ウイング・子育て支援ARIママネット共同事業体	
令和6年4月1日～	指定管理者	特定非営利活動法人子育て支援ARIママネット・一般社団法人マザー・ウイング共同事業体	

（注）管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	特定非営利活動法人子育て支援ARIママネット・一般社団法人マザー・ウイング共同事業体
	所在地	名取市みどり台三丁目3番地の3
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年0ヶ月）	
募集方法	公募 ・ 非公募	

3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市子育て支援拠点施設(cocoi'11(ここいる))		
所在地	名取市杜せきのした五丁目3番地の1 イオンモール名取		
設置年月	平成31年4月17日		
根拠条例等	名取市子育て支援拠点施設条例		
設置目的	小学校就学の始期に達するまでの者及びその保護者に交流の場を提供するとともに、子育てを総合的に支援し、もって子育て家庭の福祉の増進に寄与するため、子育て支援拠点施設を設置する。		
施設の内容	赤ちゃんひろば、ふれあいひろば、相談室（授乳室）、オムツ交換室、エントランス等		
開館時間	水曜日を除く月曜日～日曜日 午前10時～午後5時		
休館日	水曜日、祝日の翌日、年末年始（12/29～1/3）		
指定管理者が行う管理運営業務	乳幼児及びその保護者同士の交流の場の提供に関する業務、子育てに係る相談に関する業務、子育てに係る情報の収集及び提供に関する業務、子育てに係る事業を行う者等と連携した子育て支援に関する業務、拠点施設の目標を達成するために市長が必要と認める業務、拠点施設の維持管理に関する業務		
利用料金制度	採用の有無	有 ・ 無	
	利用料金の名称		

4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度（Ａ）	前年度（Ｂ）	前々年度	評価対象年度の 対前年度増減率（％） $(A)-(B)/(B) \times 100$
	令和７年度	令和６年度	令和５年度	
開館日数	301日	297日	306日	1.35%
延べ利用者数	24,213人	21,769人	21,331人	11.23%
利用者数（人/日）	80.4人/日	73.3人/日	69.7人/日	9.69%
主な増減原因	継続的な利用者や市外利用者の増加が見られた。ショッピングモール内という立地を活かし、市外からの来館や買い物と合わせた利用も増えており、地域を超えた親子の居場所として認知が広がっていることがうかがえる。また、リピーター利用も多く、安心して継続利用できる場として定着していることが来館者数の増加につながっていると考えられる。			

（注）対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

（１）収入

（単位：千円、％）

	評価対象年度（Ａ）	前年度（Ｂ）	前々年度	評価対象年度の 対前年度増減率（％） $(A)-(B)/(B) \times 100$
	令和７年度	令和６年度	令和５年度	
指定管理料	16,100	15,900	15,043	1.26%
利用料金収入				
その他	59	18	28	227.78%
収入計（ア）	16,159	15,918	15,071	1.51%

（２）支出

人件費	13,468	13,058	12,357	3.14%
施設管理費	628	728	1,175	-13.74%
事業運営費	918	989	968	-7.18%
その他	683	1,082	488	-36.88%
支出計（イ）	15,697	15,857	14,988	-1.01%

（３）収支

収支（ウ）＝（ア） －（イ）	462	61	83	657.38%
前期繰越収支差額	3,065	3,004	2,921	2.03%
次期繰越収支差額	3,527	3,065	3,004	15.07%

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

○乳幼児親子同士のつながりや出会いの場となるよう、定期的なイベントを開催した。
「はじめてのcocoI' 11」では、初回利用の不安軽減や来館のきっかけづくりを行い、「お誕生会」では利用者同士が交流しながら子どもの成長を喜び合える場を提供した。
「きらりん〜ママとあかちゃんのふれあいタイム」や「1歳児タイム・によっきー」を実施し、月齢の近い子を持つ母親同士が出会い、気軽に話せる機会を設けた。
○産前産後の利用促進を目的に「Welcome Baby! プレパパ・ママ講座」「助産師サロンぽかぽか」を年4回開催し、妊婦や産後間もない親子が安心して地域とつながれる機会づくりを行った。
出産や育児への不安軽減、ひろば利用へのきっかけづくりにつながった。
○きめ細やかな相談対応を行った。
日々の利用の中で、子育ての不安や負担感、子どもの発達、保育園入園などに関する相談対応を丁寧に行った。利用者の話をじっくり聞き、必要に応じて関係機関につなぐことで、安心して相談できる場づくりに努めた。継続的な関わりが信頼関係につながり、リピート利用や利用増加にもつながった。

7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

・「スタッフの関わりが適度な距離感で心地よく、安心して過ごせる」「気軽に声をかけてもらえることで来館しやすい」「温かく迎えらる雰囲気があり、保護者のリフレッシュになっている」などの声が多く寄せられた。イオンモール内の遊び場が増える中でも、ココイルを選んできてくれている様子が伺えた。特に0～2歳児の親子が居心地良く過ごせるよう、おもちゃの見直しや新調、環境整備に努めた。
・「父親向けのイベントがほしい」という声があり、これまでの赤ちゃんと父親のイベント「ぱぱいる」の対象年齢を0～2歳児へと拡大し、より参加しやすい内容へ見直しを行った。

8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

地域との連携強化が課題となっている。今年度は読み聞かせボランティア団体との連携を行うことができ、利用者にとって新たな交流や体験の機会につながった。今後も地域資源とのつながりを広げていきたい。
一方で、事業の特性上、地域へ出向いて活動することに制限があり、施設内だけでは支援が届きにくい家庭へのアプローチに課題を感じている。今後は関係機関との連携方法を工夫しながら、地域とのつながりを深めていく必要がある。
また、ボランティア担い手不足も課題であり、保護者が単なる利用者としてだけでなく、経験を活かして新たな利用者を支える側へ回れるような仕組みづくりが必要である。イベント補助や情報発信、見守りなど、それぞれの得意なことを活かせる機会を設けることで、保護者自身の自己肯定感や社会参加にも繋がると考える。利用者を地域資源として捉え、地域の中で支え合いが循環する仕組みづくりをすすめていきたい。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
		労働条件等に関する労働関係法令等が遵守されている。	○	○
		その他、関係法令等が遵守されている。	○	○
2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○	○
		業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。	○	○
	自主事業の 実施	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
	利用者の満足 度向上	利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	◎	◎
	利用者の苦情、 要望等の把握 とその対応	利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	○
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	○
	利用状況等	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	◎	◎
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準(目安)】

評価		評価の考え方
◎	(優 良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良 好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「―」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】

親子同士のつながりの場をつくり、交流や情報交換できるようテーマを主におき、魅力ある施設として広報を行ったことで利用者数に反映されているのではないかと推察される。

また、子育ての不安や負担感の軽減のための丁寧な相談対応を実施し、必要に応じて関係機関につなぐことで安心できる空間づくりをしており、父親向けのイベントを実施するなど利用ターゲットを明示し、利用促進や継続した利用に繋がる工夫をしていることも評価できる。

事業の特性上苦慮する部分もあるが、きめ細かな対応で利用者から高い評価を得られているため、今後も安心して利用できるサービスが提供できるよう努めていただきたい。